

「私立高校を選ぶなら」

今日から「師走」。それに合わせたかのように、昨日の暖かさから一転して、かなり寒くなってきた。最高気温も10度前後で、1月並の気温とか。そんな中、三者面談が始まった。この面談では保護者の方から日頃の家庭での様子を伺い、保護者の方に学校での様子を伝える。どんな話になるのか、気になる生徒もいるだろう。

話は変わるが、昨日、男女交際を禁止する校則をめぐる裁判の一审判决が、東京地方裁判所であった。その裁判は、都内の私立高校に通っていた元生徒の女性が、男女交際を禁止する校則に違反したことを理由に、自主退学を勧告されたなどとして、運営する学校法人を訴えたもの。判決では、学校法人側に損害賠償を命じた。それによると、男女交際を一律に禁ずる校則について、同校が入学希望者や保護者に対し、男女交際を禁止して指導に当たることを説明し、生徒側もそれを受け入れて入学していると指摘。「生徒を学業に専念させるためのものとして合理的だ」として、有効と判断した。一方、教育的指導によって校則を守らせることが見込まれていたのに、事実上退学を強制したとして、勧告は教育上の裁量の範囲を超える違法なものだったと結論づけた。

私立高校では、学校経営に創立者の意向が大きく尊重される。大学進学を重視する高校やスポーツを推奨する高校、生活指導に厳しい高校など、公立高校に比べれば、かなり特徴的だ。公立高校では特定の宗教の教えを重視することはないが、私立高校の場合は、そのような教えを重視する高校もある。上記の判決の中にあるように、入学する生徒はそれを踏まえて入学しているものと、高校側はみている。

今日からの三者面談、多くの三年生にとっては最終的な進学希望校を決める大切な面談になる。中には私立高校を希望する生徒もいるだろう。単に自分の成績や大学への進学状況だけで判断していないだろうか。たとえば、都立高校との併願であっても、十分にその高校の特徴を理解した上で受験してもらいたい。また、学校説明会への参加を出願条件にしている私立高校もあるので注意が必要だ。

12月1日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 円周上に動点A、Bがある。Aは毎分3周の速さで時計回り動き、Bは毎分2周の速さで時計と反対回りで動きます。AとBがPを同時に出発して10分間にP以外の場所で何回出会いますか。

